

# 令和5年度 岩手県自主防災組織リーダー研修会 実施報告書



令和5年12月3日(日)、16日(土)  
共催／一般財団法人 日本防火・防災協会、岩手県  
後援／総務省消防庁

# 令和5年度岩手県自主防災組織リーダー研修会実施要領

## 1 目的

地域防災活動の核となる自主防災組織において指導的役割を担う人材を養成するとともに、自主防災組織の活性化、地域防災力の強化に資することを目的とする。

## 2 実施主体

岩手県、一般財団法人 日本防火・防災協会

## 3 対象者

- (1) 岩手県内の自主防災組織において指導的立場にある者又はその補佐的立場にある者
- (2) 今後、自主防災組織を結成しようとする者
- (3) 自治体防災担当職員

## 4 開催概要

### (1) 沿岸地域在住者向け

#### ア 日時

令和5年12月3日（日） 9時から16時30分まで

#### イ 場所

岩手県久慈地区合同庁舎（久慈市八日町1-1）6階大会議室

#### ウ 定員

40名

### (2) 内陸地域在住者向け

#### ア 日時

令和5年12月16日（土） 9時から16時30分まで

#### イ 場所

公立大学法人岩手県立大学（滝沢市菓子152-52）共通講義棟 201 講義室

#### ウ 定員

60名

## 5 研修内容

8:30~8:50	8:50	9:00~10:00		10:10~12:00	12:00~13:00	13:00~14:00		14:10~16:25	16:30
受付	事務連絡	講演	休憩	演習、グループワーク	昼食・休憩	情報提供、講演	休憩	演習、グループワーク	事務連絡
	岩手県防災課	盛岡地方気象台		岩手県立大学 講師 杉安 和也 氏		情報提供：岩手県復興くらし再建課 講演：佐藤 志行 氏		コーディネーター： 東北大学 柴山准教授 塚本 清孝 氏	岩手県防災課

## 6 その他

- (1) 受講希望者が多い場合は、人数調整することがあること。
- (2) 研修の内容は、都合により変更する場合があること。
- (3) 詳細については、受講者決定の際、連絡すること。

# 研修会の概要

## 1 開講式・オリエンテーション

岩手県復興防災部防災課

開講に際し、事務局である岩手県復興防災部防災課から研修会の目的や施設利用等に係る留意事項について説明しました。



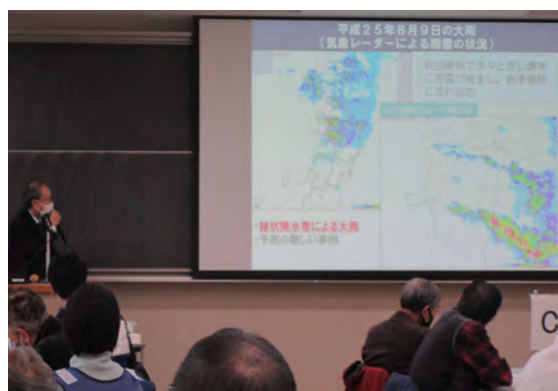
## 2 岩手県の気象災害～防災気象情報を活用しましょう～

盛岡地方気象台 調査官 中塚 斉（12/3開催）

盛岡地方気象台 地域防災官 三上 康治（12/16開催）

盛岡気象台 中塚調査官、三上地域防災官から、近年の大雨災害、気象台が発表する防災気象情報の内容及び命を守るための気象情報の利活用について講義、解説がありました。

講義の中では、過去の豪雨災害の特徴をはじめ、気象台が発表する防災気象情報、キキクルを利用した気象情報の活用等についての説明がありました。多くの参加者が強い関心を示すなど、防災活動における気象情報の活用の重要性を認識しました。



### 3 避難所運営ゲーム (HUG)

岩手県立大学 防災復興支援センター副センター長  
総合政策学部 講師 杉安 和也

岩手県立大学杉安講師から、「避難所運営ゲーム (HUG)」について、講義とグループワークを交えながら説明がありました。

講義の中では、過去の災害の避難所の状況と、最近の県内外の自治体の総合防災訓練の状況を比較し、避難所に必要な機能や留意する点について説明がありました。

グループワークでは、避難所で起こる様々な出来事にどのように対応するか（要援護者への対応やスペースの確保等）を検討し、カードを地図に並べながら、活発な意見交換が行われました。



### 4 避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成について

地域でつくる災害時避難行動要支援者個別避難計画作成事業

岩手県復興防災部復興くらし再建課

岩手県地域防災サポーター 佐藤 志行

岩手県復興防災部復興くらし再建課からは、「避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成について」と題して制度の背景や、自主防災組織に求められることについて説明がありました。

岩手県地域防災サポーターの佐藤志行様からは、「地域でつくる災害時避難行動要支援者個別避難計画作成事業」と題して、岩手県一関市中里1区で実施した個別避難計画作成事業の実施結果を説明があり、三助（自助・共助・公助）の連携の重要性について認識が深まりました。





## 5 演習、グループワーク

東北大学 柴山 明寛 准教授  
岩手県地域防災サポーター 塚本 清孝

東北大学柴山准教授と岩手県地域防災サポーター塚本清孝様をコーディネーターとして、大規模災害の増加や、人口減少・過疎化が進む中の防災の課題等について説明した後、避難行動の考え方についてグループを分けディスカッションし、意見交換しました。

グループにおけるディスカッションの中では、ハザードマップの見方についての気づき、避難行動における留意事項、必要に応じて広域避難という選択肢も検討する必要があること等、多くの気づきがありました。



## 令和5年度 岩手県自主防災組織リーダー研修会 アンケート

この度は、研修会にご参加いただきありがとうございました。今後の研修会の開催に向けて、是非とも皆様のご意見をお伺いしたいと思いますので、該当する番号に○を付けていただくとともに、具体的なご意見がございましたらご記入願います。

### 1 本研修全般について（4段階で評価して下さい。）

大変役に立った	役に立った	ふつう	あまり役に立たなかった
1	2	3	4

【研修全般に関するご意見があればご記入願います。】

### 2 それぞれの科目の内容について（5段階で評価して下さい。）

#### (1) 講演 岩手県の気象災害と防災気象情報（盛岡地方気象台）

良かった		ふつう		悪かった
1	2	3	4	5

【科目に関するご意見があればご記入願います。】

#### (2) 講演・グループワーク（避難所運営ゲーム）（岩手県立大学 杉安講師）

良かった		ふつう		悪かった
1	2	3	4	5

【科目に関するご意見があればご記入願います。】

#### (3) 情報提供 避難行動要支援者への支援について（県復興防災部復興くらし再建課、佐藤志行様）

良かった		ふつう		悪かった
1	2	3	4	5

【科目に関するご意見があればご記入願います。】

#### (4) 演習、グループワーク（東北大学 柴山准教授）

良かった		ふつう		悪かった
1	2	3	4	5

【科目に関するご意見があればご記入願います。】

3 研修会の日程について

(1) 日数についてどうですか？

日帰りが良い    1泊2日が良い    2泊3日が良い

(2) 開催する曜日はいつがよろしいですか？

平日が良い    土曜日が良い    日曜・祝日が良い

(3) 時期について、何月に開催したら参加しやすいですか？

月の開催

4 その他、気づいたことや改善点があれば、ご記入ください。

アンケートへのご協力、どうもありがとうございました。

岩手県復興防災部防災課

令和5年度岩手県自主防災組織リーダー研修会 アンケート集計結果

(令和5年12月3日(日)実施 受講者27名中アンケート回答者27名)

(令和5年12月16日(土)実施 受講者35名中アンケート回答者35名)

	1 研修全般	2(1)	(2)	(3)	(4)
【評価】 1(良かった)・2・3(ふつう)・4・5(悪かった)					
1	1	1	1	1	1
2	1	2	2	1	3
3	1	3	1	2	1
4	1	1	1	1	1
5	2	2	1	2	2
6	1	1	1	4	1
7	-	3	1	3	2
8	2	2	2	1	1
9	1	2	1	2	1
10	1	2	1	1	1
11	2	3	2	3	2
12	2	2	1	1	1
13	1	1	1	1	1
14	-	2	1	1	1
15	2	2	2	1	1
16	1	1	1	1	1
17	1	1	1	1	1
18	2	-	2	3	2
19	1	3	1	3	1
20	2	2	2	1	1
21	2	1	2	2	2
22	2	2	1	2	1
23	2	3	2	2	2
24	2	2	3	2	1
25	2	1	2	1	1
26	1	1	1	1	1
27	1	1	1	1	1
28	2	1	3	2	1
29	1	1	1	1	1
30	2	1	1	2	1
31	1	1	1	1	1
32	2	2	2	2	2
33	1	1	1	1	1
34	3	3	2	3	1
35	1	1	1	1	1
36	2	3	1	3	1



37	1	2	1	2	1
38	1	2	1	3	1
39	1	1	1	1	1
40	1	1	1	1	1
41	2	2	2	2	2
42	2	2	2	2	2
43	2	3	3	2	1
44	1	2	1	2	1
45	2	2	2	1	1
46	1	3	1	1	1
47	1	1	1	1	1
48	2	1	2	3	1
49	1	1	1	2	1
50	2	2	2	2	3
51	2	1	1	1	1
52	1	1	1	1	1
53	3	3	3	3	3
54	2	2	3	2	2
55	2	1	2	2	1
56	2	1	1	1	1
57	2	2	2	2	1
58	-	1	1	2	1
59	3	2	2	3	2
60	1	2	1	2	1
61	-	1	1	2	1
62	1	1	1	1	1
評価 1	28	28	38	28	48
2	27	23	19	23	11
3	3	10	5	10	3
4	0	0	0	1	0
5	0	0	0	0	0
-	4	1	0	0	0

※極力、原文のままとしています。

## 1.本研修全般について

- ・帰って、自分の町の自主防災に役立てたいです。
- ・はじめて研修に参加したが、内容については今後の活動の参考となり、有意義な研修であったと思う。
- ・大災害を経験した沿岸地区の皆さんとのワークショップが大変参考になった。
- ・観る角度から防災の意識が違って来る。
- ・自主防何をするか？いろいろ悩んでました。この様な研修参考になります。各地域でも企画してもらえればと思います。
- ・今日初めて、自主防災組織リーダー研修会に参加し、今後、地域の方々に防災意識を高めて参りたい。
- ・ゲーム感覚でおもしろかった。
- ・初めての参加なので大変役に立ちました。
- ・いろんな人が住んでいるので、地域で考えるむずかしさを改めて感じた。
- ・知らない知識が多くてかしくなった気がします。
- ・帰宅後もう一度確認し、自主防災会に研修内容を伝えたい。
- ・質問時間を入れていただきたい。
- ・どのプログラムも参考になりました。内容について、地域にあった内容に変換して、活用させていただきたいと思います。
- ・全体的に話が速いと感じる。頭が弱くなっているなど反省しています。
- ・シミュレーションとしてやれることの紹介が、HUGと課題だけだったので、他のものもあつたらよかつたと思います。
- ・今後もたくさんの防災士の出席でやった方がよい。

## (1)岩手県の気象災害と防災気象情報(盛岡地方気象台)

- ・内容とは別に聞きづらかつた。
- ・情報量が多すぎる。
- ・今日、はじめて、直接気象予報士のお話が聞けて良かつた。
- ・さんこうになりました。
- ・キキクルを知ることができました。
- ・最近いろんな災害が起きているので、予想がつかないが、いろんなメディアを使って知る必要がある。
- ・詳細知識で感謝しています。
- ・気象情報は知っている情報でした。
- ・写真や動画があつて実際の様子が分かりやすかつた。
- ・北上川氾濫も気になっています。キキクル利用します。
- ・気象庁ホームページ、キキクル等の実画面で見方の説明をした方が解り易いと思います。
- ・仕組みが分かつて良かつた。
- ・キキクルの活用をもっとすすめるべきと思つた。

## (2)講演・グループワーク(避難所運営ゲーム)(岩手県立大学 杉安講師)

- ・頭の、勉強になりました。
- ・配当時間の増加をお願いします。HUGにおいて大切な問題処理(状況判断に要する時間)が短く
- ・内容とは別に聞きづらかつた。
- ・実践的で大変良い経験でした。HUGゲーム購入したい。
- ・ワークショップをすることで様々な意見や考え方があることで全体の考え方の方向性に役立つた。
- ・いろんな意見、考え方があつてよかつた。
- ・初めての経験なので楽しんで学べました。ちょっと時間が少なかつた。
- ・グループワークが楽しくできた。
- ・実際に来る人の条件を見て、どこに置いたらよいか迷い、マニュアルどうりにはいかないことを体感できた。
- ・時間が足りなかつた。
- ・もう少し時間をかけても良いのではないかと感じました。(説明が少し早足になる。最後までカード配布できない。解説の時間をもっと欲しい。)
- ・カードを少なくし、全体を終わらせるのが良い。
- ・ゲーム感覚で運営できて楽しかつた。避難してくる人の背景、避難所の状況など考えることがたくさんだと思つた。
- ・実体験として役立ちました。
- ・もう少し時間があれば良いと思う。
- ・講義は分かり易かつたが、グループワークは時間が足りない感じがしたので、作業量を減らす等の工夫が必要かもしれません。
- ・内容はとてもためになる良いものだった。ただ県大生を労働力のように使わないでいただきたい。今日は1参加者として参加している。何か補助的な役割も担わなければならないなら募集時に記載していただきたい。(カードの並べ替えについて)
- ・始める前に同じグループ内での役割を決められると考える責任者が明確で良いかと思つた。
- ・もっと時間があればよかつたと思います。

### (3) 避難行動要支援者への支援について(岩手県復興防災部復興くらし再建課、佐藤志行様)

- ・地域の意見を細かく分析し、解決し信頼を得られたのだと感心しました。
- ・地域で話し合い、避難行動要支援者への支援の仕方について、今後、役立てたい。
- ・よくわからない。難解だと思う。
- ・要支援者の方針決定が大事と知れた。
- ・ハザードマップ参考にしたと思う。住民をまきこんで防災を考えている。
- ・いろいろな方の連携が大切であると思う。
- ・資料を配布してもらいたい。
- ・区長を長くやっています。個別避難計画の作成大変良い事ですね。やってみます。
- ・PPの資料をいただけませんか相談。
  - 個人情報と自主防災会の開示方法が知りたい。
- ・実際に取組むに当り、難題が山積していると思います。どう乗り越えたか参考に教えて頂きたいと思った。
- ・話はいねいわかりやすかった。図表などは小さくて見づらい。
- ・佐藤志行氏のお話は、現場の苦労なども分かり、大変勉強になりました。
- ・図も絵もなかったので、イメージしづらく、「どうなのかなあ」という感想。

### (4) 演習・グループワーク(東北大学 柴山准教授、塚本清孝様)

- ・避難指示等の発令内容は市町村(自治体)がその責任を負って発令すべきもので、自主防災組織リーダー研修会で例題を考えさせるようなことは研修内容としては不適だと思う。むしろ、どの段階で避難しなければならないかという内容でなければならないと思う。
- ・具体的な事例研修として有意義でした。
- ・資料とお話型とても考えさせられる時間が多く、充実した時間になりました。
- ・重ねるハザードマップに感心しました。
- ・会話を多く話すことができた。
- ・地域のハザードマップの見方や、避難の考え方にとっても共感しました。
- ・それぞれの考え方を知り勉強になりました。
- ・避難地図に関して、他地域への移動は目から鱗でした。
- ・常に安全方向で考えることが大事であると感じた。
- ・もっと時間を割いてもらっても良いと思います。短かったです。
- ・ちょっと難しいかなと思ったが、グループで話をしながらやると理解が深まった。
- ・グループで楽しく考えることが出来ました。
- ・ひっかけはないよ。(山登りは無い設定で!)
- ・ものすごくわかり易い講義でとても楽しく参考になるお話でした。あとで資料をいただきたいと思いました。
- ・発想力、固定観念を捨てる。
- ・講師の早口が気になった。
- ・枠内にこだわらずに回り見る様にする。

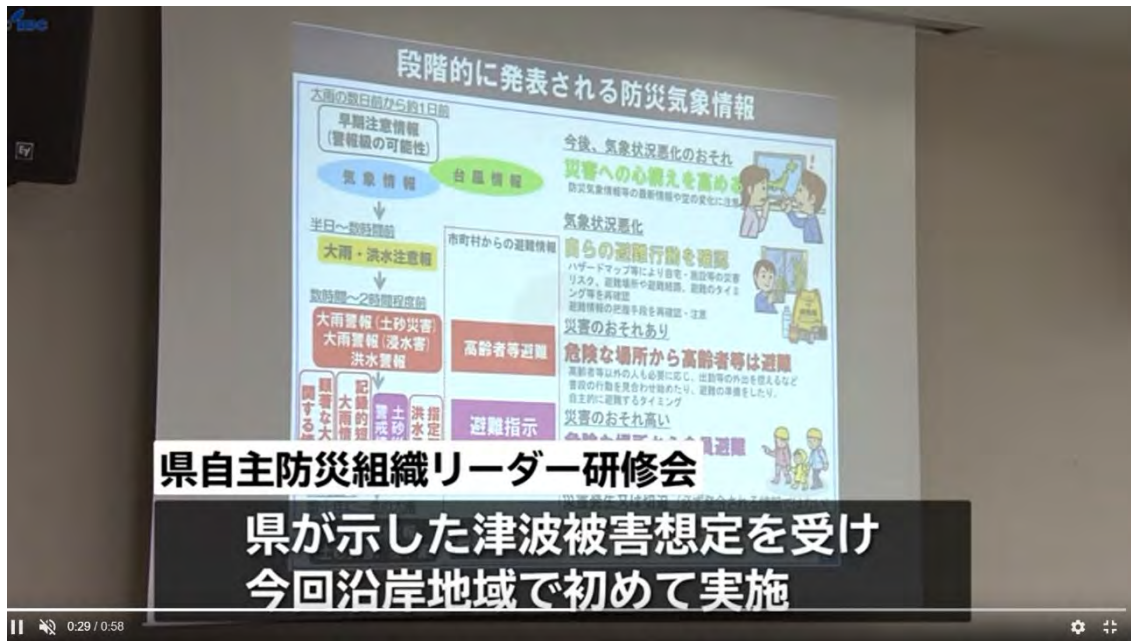
R5. 12. 3 岩手県自主防災組織リーダー研修会（久慈市開催）

R5. 12. 3 IBC 岩手放送



②







# 地域防災の知識深める

## 県立大でリーダー研修会 グループワークなど行う

県と日本防火・防災協会は16日、県立大で2023年度県自主防災組織リーダー研修会を開いた。地域防災の中心的な役割を担う人材の養成や、自主防災組織の活性化、防災力強化を目的に開催。地域防災に関わる役員や、自治体の防災担当者、県立大生ら約35人が参加。講演とグループワークで地域防災に必要な知識を深めた。

研修会は、沿岸と内陸の在住者対象に、2回に分け実施。16日午後の講演では、防災士で県地域防災サポーターの佐藤志行さんが、「逃げ遅れ者ゼロ」を目指す一関市中里一区の事例を紹介した。同地区では、個別避難計画を立て、地域防災マップに独居老人や病人などの「避難行動要支援者宅」を記載した。一関市に確認しながら記載内容を充実させた。

佐藤さんは「マップを制作し、避難計画を立てたことで、地域コミュニティの活動が活発になった。東日本大震災を経験し、「備える・伝える・復興する」は、いまの私たちの責務。災害や事故で悲しむ人をつくらないよう、自主防災組織で何かできるか、もう一度考えて行動を起してほしい」と促した。後半は東北大の柴山明寛准教授がコーディ



グループワークで、住民がどこまで避難するか検討した

ネットワーを務め、グループ区域、指定避難所も示す。家屋1階天井まで浸水すると想定されたあふは「このエリア外の地域を地図サンブルを見ながら、「高齢者」を避難させると「避難指示」を足し、「このエリアはうにするとどうするの発令時に、どこまで住民を避難させるかを考えた。地図には土石流や急傾斜の特別警戒